



アカデミックな空気を満喫：

秋のキャンパストライアル特集号 第5号 3 . Dec . 2 0 1 2

夏休みなどに開催されるオープンキャンパスとはひと味違って、11月16日(金)午後からの〈神戸大学の各学部の協力による兵庫高校生のための〉半日は67回生にとって実りあるものとなりました。

当日の様子を参加者の代表10名にレポートしてもらいました。自分が参加した学部以外の様子もぜひ知って今後の進路選択や大学選びの参考にしましょう。



文学部 (国語・言語・芸術・社会学科)

キャンパストライアルを終えて

G.I.

11月16日、神戸大学でキャンパストライアルがありました。僕が選択したのは文学部の国語学でした。講座の内容は「奈良時代の日本語と上代のことばについて」でした。最初にこれを聞いたときは、難しそうだなあと考えていました。

そして当日、講座が始まりました。プリントを配って、それを解説するという授業でした。先生は初めに、現在の日本語の発音から教えてくれました。例えば、普段は意識せずに使っていますが、「さ」と「し」では声の出し方が違うそうです。五十音を全て発音で書

き出してみると、ローマ字表記とはかなり異なることがわかりました。その後、奈良時代のことばについて学びました。驚いたのが奈良時代では、今の「は」が「ば」の様な発音だったかもしれないということです。初めは難しいと思っていた講座もおもしろいと思えるようになっていました。

今回のキャンパストライアルでは実際に講座を受けるという貴重な体験をすることができました。僕はまだ進路を決めていないので、今回の体験はとても参考になりました。

戦慄の一日

F.T.

私は、見事抽選で勝ち取った文学部芸術学専修の授業見学をさせていただきました。教室は視聴覚室、椅子が何やらテクノロジカルな形をしており、机にはコンセントが付属、授業が始まる前からその、高校とは全く雰囲気の違う教室に目を奪われていました。そこまでは良かったのですが。

いざ授業がはじまってみると、私はそのレベルに愕然としました。まず、講師の方の板書が少ないこと少ないこと。たまにホワイトボードを引っ張ってこられて、ああやっとなんか書いてくださるのかと思えば、書かれた文字はたった三文字「多声性」。加えて、手元には「現代文の問題文なのか」と思ってしまうほど、読み解くのが困難な資料。プロジェクターが映し出すスライドには巨匠の作品が映し出されるのみで、何がどう大切でどのようにこの資料に関わってくるのか理解が追いつきません。講師の方はとても優しく丁寧に説明をしてくさるのですが、言葉が頭の中を駆け抜けて行くばかりで、一向に整理できません。あゝ、これが神大のレベルなのね、兵庫高校に入れたからと言って慢心しては駄目なのね。訳がわからず書き

殴ったメモに目を落としながら、私は神大のレベルを肌で感じました。

大学進学。あともう二年後に迫っているとはいえ、未だに現実味のないこの関門が、すこし身近に感じた一日でした。

経済学部

神戸大学道中記

K.Y.

僕はその日の朝、軽やかな気持ちで家を出ました。その日は3時間目からキャンパストライアルで持ち物が1, 2時間目の用意だけでよかったので、荷物は小さめのかばん一つで納まりました。本当はもっと少ないと予想していたのですが、2時間目の家庭科で幼稚園に行くための体操服が必要だったこともあり想像よりも多くなってしまいました。しかし、それでもリュックとエナメルといういつもの重装備に比べると軽いものなので、遠足のような気分でした。その流れでいつもより1時間目の授業も早く感じ、2時間目の家庭科もあっという間に終わってしまいました。

そして、いよいよ神戸大学へ出発、のはずでしたが、僕はそこで重大なことを思い出してしまったのです。それは、僕が質問係だということです。まだ質問の内容を考えていなかったので思い出して幸運だったといえそうかもしれませんが、その時の僕は不安に包まれてしまいました。高校を出てからずっと考えていましたがなかなかいい質問は思いつきません。講義中に答えを言われてしまいそうな質問、答えにくそうな質問など、いまいちパツとしないものばかり思いつきます。しかし六甲駅で降り、神戸大学が近づいてきて焦りだしたその時、良さそうな質問を思いついたのです。その瞬間すべての不安は解消され、大学への期待や好奇心で胸がいっぱいになりました。足取りも軽くなり、本来かなりしんどいはずの坂道も楽に感じました。大学とはどれほど自由で楽しい場所なのか、勿論、勉強は大丈夫か、など不安もありましたが、それにも勝る期待でわくわくしながら神戸大学正門に着いたのです。



知った、経済学のオモシロサ

M.O.

私は経済学部に行きました。経済学部がある場所は、今回私たちが参加する学部の中で一番遠い場所であり、歩きで行ったのですが、想像以上に長く、しんどいものでした。それはまるで、神戸大学に合格するまでの大変な道のりを感じさせられているようでした。やっとの思いで辿り着くと、そこにはいくつもの大きな建物、とても広く高い階段、周囲は木々に囲まれていました。ああ、これが大学かと高校との規模の違いに圧倒されました。私の中で経済と言えば政治などと同じように、そんなに身近にあるものではないというイメージでした。けれども、講義を聞いて、それは大きな間違いであることが分かりました。

担当のA先生のお話しはとてもおもしろく、興味深いものでした。まず経済とは、みんなが豊かに暮らせる方法を考える学問だそうです。決して、金儲けの方法を学ぶ学問ではありません。そして、それを言い換えると、「当たり前」の論理を積み重ねて、他人の一步先を見通す学問なのです。今回はタバコ増税のお話しをして下さった

のですが、ああ、そういう考え方もあるのかと、とても納得しました。またどの道に進んでも、教科書の裏にはたくさんの闇があるとおっしゃっていたことがとても印象に残っています。もっと深く経済学を知ってみたいと思いました。

農学部

大学の雰囲気

Y.Y.

初めて大学に行ってみて最初に思ったのが、「とにかく広い！」ということです。今までの小学校や中学校、高校とは規模が違うと思いました。見学したのは多々ある建物の中のたった1棟だけですが、その中でも迷いそうになったくらいです。また、いろんな研究室があって興味深いものがたくさんありました。

僕が行った農学部でもいろんな研究が進められていて、おもしろそうだと感じました。自分も大学に行ったら同じように何かを研究するのかと思いました。研究といえば、神戸大学の学生の方がこんなこと

をおっしゃっていました。「高校までの勉強は教科書の内容を学習するだけですが、大学ではその先の道を研究していくことで、自分自身の力で切り開いていきます。そこが大学の魅力であり、楽しさではないでしょうか。」この言葉を聞いて大学とは素晴らしいところだと思いました。

また別の話を聞くと、その学生の方は与えられた研究室で研究する一方、その研究室で料理をして食事を摂ったりもしているらしいです。他に迷惑がかからなければ、なにかと自由に使えるというのは意外でした。というのも今まで研究とは堅苦しいイメージがあったのです。しかし、今日一日でそのイメージが一変しました。研究することは私たちの知らない未開の事柄を開拓すると同時に、その楽しさや喜びを味わうことのできるものというのが、今の研究に対するイメージです。それが分かっただけでも充実した一日となったのは間違いないと思います。

研究室訪問

A.N.

私は、研究・開発に関することに興味があるので、今回のキャンパストライアルで農学部は研究室を見学できると知って、楽しみにしていました。植物遺伝学の研究室では、学生たちが慣れた手つきで実験をしたり、コンピューターを使ってその結果の情報処理などをしていました。それぞれが、全く違うことを黙々とおこなっている姿が印象的でした。

しかし、私が特に驚かされたのは、研究室にたくさん並んだ機械たちです。実験の試料をつくるものから、DNAの塩基配列を調べたり、塩基配列の違いを発見したりするものなど、予想以上に多くの場面で機械の



力が使われていました。それ以外にも、何百という数の植物の種がストックしてあったり、巨大で精密な電子顕微鏡があったりと、研究のための恵まれた設備を多く目にしました。

実際に大学の研究はこんな環境でおこなわれているのだと実感することができ、本当に貴重な体験になりました。農学部の中にもたくさんの学部・コースがあり、研究している内容も様々ですが、どれも興味をそえられるものがありました。

工学部 都市工学科

神大の驚き発見。

T.N.

ぼくは、神大でとてもたくさんの驚きがありました。まず、バス停が神大だけで2、3個あったのにびびりました。敷地が兵庫の3倍は余裕であるなど思いました。そして、一番の驚きが、学校にコンビニがあることです！学校の隣ではなく、学校内にあることにとっても驚きです。ぼくは工学部に行ったんですけど、工学部のすぐ隣に、徒歩15秒のところであってめちゃくちゃうらやましかったです。昼ごはん買い放題お菓子食い放題コンビニ儲け放題やなど思いました。他には、教室のイスがとても変だったことにも驚きました。折れるかと思ってヒヤヒヤしました。

このように、兵庫には見られないおもしろいことを色々発見しました。このキャンパストライアルはとてもおもしろかったです。他のオープンキャンパスにも行ってみたいです。

初めて知る“工学”

Y.S.

キャンパストライアル。普段行くことのない、“大学”という場所にわくわくどきどき、期待を抱いて、私は六甲駅を降り神戸大学へ向かった。私が模擬講義を受けたのは工学部。大きく2つのテーマについての講義だった。

1つ目は、「流域から見た河川環境」について。川に見る社会性と自然性を中心に講義が進められた。河川の役割、そして今起こっている問題など、初めて知ることたくさんあった。中でも印象的だったのは、緑の多い川が必ずしも良いとは言えない、ということ。緑の多い川は直線状で、洪水の收拾がつきにくいのだそう。

2つ目は、「自動車を運転中のドライバーの視覚と行動との関係」について。これは交通工学の講義で工学だけでなく、心理学の分野も混じった内容で、魅力があった。高速道路のトンネルの中の壁の模様は、スピードを落とさせるための工夫だということを知った。実際に動画を見て感じる速さの違いを体感できた。普段気につけない些細なことも、細かく複雑な大きな計画の元で作られ、動いているのだと感じた。最後に、講義していただいた先生からは、「進学する学校を決めるのは、大学選びではなく、どんな先生がいるのか、どんな研究をしているのか、ということに目を向けて決めなさい」とおっしゃられた。このキャンパストライアルを通して、これからもっといろいろな事に関心に向け大学で本当に学びたいことを探したいと思った。

医学部 保健学科

実際に見て感じたこと

R.I.

私は医学部保健学科のキャンパストライアルに参加しました。参加した理由は将来の夢や行きたい大学はまだはっきりと決まってないけど、学科説明などでこの学科に興味を持ったからです。

施設見学では実際に学生が使っている設備を間近で見ることができました。病院のようにベッドや医療機器がある教室では、人形を使ったり、時には学生同士で実践的な研修をしているそうです。他には私たちが生活している家に似せた教室がありました。そこでは身体の不自由な人たちが普段の生活をしやすくなるように学生たちがシミュレーションをして、患者さんに分かりやすく教える方法を学んでいるそうです。車椅子を片手で動かしたり、段差を無理なく昇る方法など、分かりやすく教えるのは難しいそうです。



義肢装具室というところでは、義足などがたくさん置いてあり、種類も様々な用途に合わせたもの

がありました。私たちの中からも少し体験させてもらいましたが、予想以上にバランスがとれず、動きがぎこちなかったです。これを普通に歩けるようになるまでの過程を手伝う練習などもしているそうです。

このキャンパストライアルでは実際に大学の雰囲気を感じることができ、学科説明だけでは分からないことも実際に体験することができました。この経験をこれからの進路選択に活かしていきたいです。

神大キャンパストライアル♪

Y.F.

今回のキャンパストライアルで、私はたくさんのことを学ぶことができたと思います。その中でいちばん印象に残っているのは、やっぱり体験授業です。実際に講義室で授業を受けました。高校のような教室ではなく、テレビで見たことがあるような階段のようになっている教室でした。しかも、大学生といっしょに授業を受けたのでとても緊張しました。チャイムになると一気に静まり、空気が変わったような気がしました。

授業は90分、しかし最終的には10分延長になったので100分授業でした。いつもの倍だったのでとても疲れました。でも、思ったよりも集中できました。大学生と大学でいっしょに授業を受けるなんて、このような機会がなかったら体験することができなかったと思うので、とても有意義な時間になりました。自分の将来について、改めて考えることができました。この経験が無駄にならないよう、活かしていきたいです。

これからの行事予定

- | | | |
|-----|--------|-------------------|
| 12月 | 6日(木) | 期末考査〈～12(水)まで〉 |
| | 12日(水) | 通学路清掃 |
| | 13日(木) | 学年集会 健康相談 |
| | 14日(金) | 球技大会 |
| | 17日(月) | 進路講演会 |
| | 18日(火) | 人権映画鑑賞 |
| | 19日(水) | 芸術鑑賞会 午後〈神戸文化ホール〉 |
| | 20日(木) | 学年集会 LHR |
| | 21日(金) | 終業式・大掃除 |
| 1月 | 8日(火) | 始業式・大掃除・課題考査 |
| | 9日(水) | 課題考査+4限より授業 |
| | 14日(月) | 成人の日 |
| | 26日(土) | 全国模試③ |

編集後記

気がついたら師走になっていました。行事 rush! 原稿送付メールアドレスは、以下のとおりです。
E-mail: hyogo67@gmail.com